

～ 男と女、共に歩む社会を考える情報コーナー ～

あなたと いっしょに・・・ With you

第2号

この特集記事は、男女共同参画社会をみんなで作るために、一般公募で選ばれた4人の市民が編集しています。

職場での男女共同参画を

働くことは大切な権利の一つです。労働をとおして自らの意識を高め、能力を十分に発揮していくことは、一人ひとりの自立や自己実現にとどまらず、経済や社会の発展に大きく役立つこととなります。しかし、いまだに女性を低く見たりする意識や、性別による仕事の分担、男性優位の職場環境などが、女性にとって働きにくいものになっています。

男女雇用機会均等法により、労働状況が改善されつつありますが、採用、昇進、昇格、賃金、研修等の男女格差や、男性の働き過ぎなど、まだまだたくさん問題を抱えています。

男女がともに家庭と仕事を両立させ、豊かでゆとりある生活を送るためには、働き続けるための環境の整備と、労働の場における男女平等を積極的に推進することが必要になってきます。

今回は、男性も女性もいきいきと、それぞれの能力が発揮できる職場について考えてみたいと思います。

これってどう思うかな?

うみねこ会社の
ランチタイムから

登場人物



職場編

係長 33歳

まり子 30歳

ミキ 21歳

エリ 35歳

よしお 28歳

れいにも
きゅせ3!!



「よしお!そろそろ結婚の話はないのか」



「俺っすか?まだっすよ」



「結婚はいいぞー。料理は作ってもらえるし、洗濯もしてもらえるし、早く結婚しろ」



「それって、奥さんにみんなやってもらっているってことですか。私は結婚しても働きたいから、家事と一緒にする人でないと、結婚できないなあ」

仕事と家事の両立によって、過重労働をしなければならないのは、女性ですか?



「そうね、係長の言ってることって、結婚したら女は家庭に入るってことよね」



「そついう考えの人が会社の上で立っていることが多いから、私達女性が働き続けるって、けっこう障害があるのよね。私みたいに子どもがいると、本当に大変」



「女の幸せは、結婚して家庭に入ることだと思うよ」



「幸せかどうかは、自分が決めることで、他人が決めることではないと思つわ」



「ところで、なぜエリさんは、係長どころか主任にもならないのですか。仕事はできるし、昇格試験も合格してますよね。この現実って、やっぱり男社会って感じで、仕事への夢や希望が薄れますよね。男性というだけで自分より能力のない人が、自分の上に立つと思うと、いやだなあ」



「私が主任の今さらねえ。責任も増えるし、大変だもの。今のままでいいわ。パス」



女性がキャリアを伸ばせるかどうかは、上司が差別なく育てようとしているかにかかっているのでは？

仕事を続けていても昇進の可能性が少なく、給料もおさえられている。将来の年金にも、影響する。

男女不平等と言いつつ、女性に甘いではありませんか？



「エリさんを主任にするんだったら、きつとよじおを主任にするだろうなあ」



「昇進に限らず、男女差別ってたくさんあるわよね。男の人には、いろんな立場やチャンスが与えられ、伸びていくのに、女性にはそういう機会もないわねえ。やればできるのよ」



「女性は、出産、育児があるし、腰かけ気分が甘えもあるよなあ」



「でも、女性だけに家事・育児をまかせると、不公平ですよ。結婚生活は二人で築くものだから、子育てだって二人でするべきです」



「俺は子どもができたから、育児休業を取って、しっかり子育てに関わりたくなあ」



「おいおい、仕事はどうするんだ」



「育児休業は法律で決められているし、男が取ってはいけないなんてないっすよ」

女性には能力を発揮できる仕事を与えられず、補助的な仕事が多い。企業の中で女性が育たない現状？



やっぱり男は、仕事が一番？



「係長、提案があります。お茶を入れるのは、女性社員がずっとしてきまして、男がやるのは、慣例ですか？女性だけがやるのは、もうそろそろ、やめませんか？」



「……………」



「……………」

「このレストランだって、料理を運んでいるのは男性が多いし、違和感も全然ないですよ!!」

女性活用に理解のない男性上司

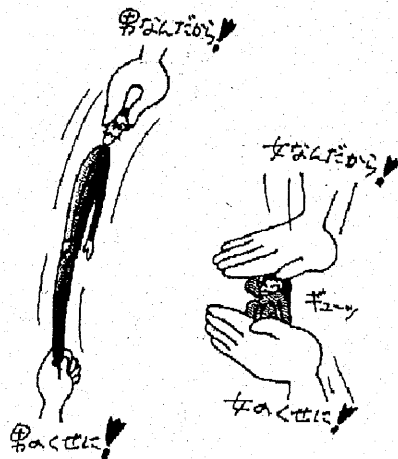
女性が安心して仕事を続けられるような社会や、職場の環境になればいいですね。育児休業など、少しずつ制度は整ってきていますが、それを十分に活用していきける雰囲気になっていけばいいですね。職場の中の慣例、慣習も見直してみたいかがですか？

男性も女性も、いきいきと仕事をしている姿は素晴らしいものです。片方だけの犠牲や責任のなすりあい、もうやめにしませんか？

ジェンダーチェック ~ 職場編 ~

職場における男女差別は、男女雇用機会均等法や労働基準法によって禁止されています。しかし、いまだに女性が働きにくいのは、性別による仕事の分担や不利益な扱いを受けていると感じることが多いからです。

女性が男性と同じ立場でいきいきと働き、十分に能力を発揮できる職場は、女性だけでなく男性にとっても働きやすく、企業の発展にもつながっていきます。職場のすべての人が自らを見つめ直すことで、はじめてジェンダーフリーな職場が生まれてくるのだと思います。



ジェンダーとは、女はこうあるべき、男はこうあるべきというように、社会の慣習や通念によって、作り上げられた性別のことをいいます。

職場内について、みなさんはどう考えますか。
「はい」か「いいえ」でチェックしてみてください。

- 職場での、後片付けや掃除は女性の仕事だ。
- 女性の上司はやりづらい。抵抗がある。
- 女性の新人研修には、接客などのカリキュラムを入れるべきだが、男性にはなくてもいいと思う。
- 職場内の宴会では、やはり女性にお酌をしてほしい。
- 小さな子どもがいるのに女性が働いていると、子どもがかわいそうだ。
- 能力、業績が男女同じ評価のときは、男性を昇格させる。
- 女性は結婚すると会社を辞めていくから、あまり仕事を任せられない。
- 残業や休日出勤を女性がするのはかわいそうだ。
- 自分の仕事を女性社員に批判されるのはいやだ。
(いい気持ちがない)
- はっきりと意見を言う女性よりも、控えめで気配りのある女性と仕事がしたい。
- 子どもの病気を理由に休暇を取る男性は、もってのほかである。
- 職場結婚をすると、女性のほうを配置転換させたり退職させる。

あなたはどのタイプ？

「はい」が12~9の人
トツテモ古代人



いまだに男性優位の意識が根強く残っているあなた。そんな仕事一筋の人たちが、日本経済を支えてきたのは確かですが、社会は変化しています。気をつけないと社内旅行では置き去りにされますよ！

「はい」が8~5の人
シッカリ地球人



家庭では十分自由で平等なのに、職場でちゅうちょしてしまつのは、ひょっとしてその肩書きがジャマをする？ バランスのとれた平等感覚を身につければ、あなた自身も案はず！

「はい」が4~0の人
チャッカリ宇宙人



職場でも、家庭でも、自由な意識を持っているあなた。あなたのような人が増えれば、世の中、男性も女性ももっと暮らしやすくなるでしょう。あなたこそ、これからの職場のリーダーとして、最も求められている時代のヒーロー、ヒロインです！



キーワード

男女雇用機会均等法 (1986年施行)

雇用の分野における、男女の均等な機会と待遇の確保を促進するための制度。1997年の改正により今年4月からは、募集・採用・昇進・教育等において、男女で異なる取り扱い禁止 (現行法では「努力」義務) されます。

育児休業法 (1992年施行)

子どもを養育する労働者の雇用の継続を促進するために、子どもが満1歳になるまで男女どちらでも育児休業または労働時間の短縮ができる制度。

39才 サラリーマン
 女性も仕事を持つことには、大賛成です。
 役職に向いていないとか、結婚したら退職しろとか、家庭や職場の協力が不足していたり、確かに問題は山ほどあります。でも、自分の力を信じて、とことんがんばってください。



48才 製造業
 パートの女性たちと働いています。社員になるように薦めても、パートの方が楽だからと、断る人が多いのが現状です。

61才 隠居
 女を働かせるなんて、男の風上にも置けない。子どもや家の事を任せているんだから、外で働くなんてとんでもない。
 昔からそうしてきたし、それでも何も問題はなかった。女房も文句なんか言わなかったし、わたしの頃はそれが当たり前だった。

俺にも言わせろ！

男のつぶやき

28才 営業
 職場で男女差別があるのは確かだ。私の上司には一人も女性はいない。なぜか結婚すると辞めてしまう人がほとんどだ。会社もそれが当たり前のように思っていて、責任のある仕事を与えないようにしているようだ。アルバイトやパートとして戻ってくる女性も「休んでも平気だし、楽でいいわよ」とか言って満足している。会社も会社だが、女性の仕事に対する意識の低さも問題だと思う。

八戸の男性は、どう考えているのでしょうか？
 お話を、伺いました。



ため息 ♂

お便りありがとう

～創刊号を読んで～

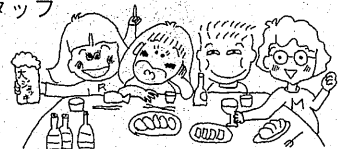
- こういう内容に取り組んでいる人がいることに、涙が出るほどうれしかった。(30代・女性)
- 小児科の受け付けをしていたころ、「子どもが熱を出したので休ませてください」と申し訳なさそうに職場に電話をしている女性をたくさん見えました。子どもを持つ女性に特別扱いではなく、職場や家庭で理解と協力をしてほしいのです。(30代・女性)
- 女性の負担を考えると少子化は避けられない。これからの世代のため頑張ってください。(20代・女性)

42才 会社員
 男女共同参画には反対はしませんが、社会で言われているほど、真剣に仕事に取り組もうとしている女性が多いとは思いません。確かに、家事や育児などで男性や社会の協力が足りなくて、女性が仕事に打ち込めないのはわかりますが……。
 男性の中にも、仕事より家庭を大切にする人が増えているし、女性うんぬんよりも、個人として多様な生き方が認められるようになって欲しい。

編集後記

昨年9月に創刊したWith you。発行と共に多数のお手紙やFAXをいただき、本当にありがとうございました。市民の皆さんの関心の高さを物語るものとスタッフ一同、気をよくして意気揚々と第2号に取り組みました。他人同士が会する職場、だからこそ身につけるべき男女平等は、21世紀を生きる大人のマナーでは？ 皆さんはどう思われますか？

編集スタッフ



問い合わせ 女性青少年課 〒031-8686 八戸市内丸1-1-1
 ☎43-2111 内線459

松橋いく子 工藤 伸明
 滝谷 淳子 田向 令子